

大田区男女共同参画のための情報誌

第120号  
平成30年秋号  
年2回発行

# パステル

未来を描く 十人十色のハーモニー

## 2. | 巻頭インタビュー |

報道キャスター

長野 智子<sup>さん</sup>

女性の活躍

～メディアに関わる女性の視点～

## 4. | 特集 |

男らしさ？女らしさ？自分らしさ

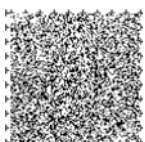
## 6. | true colors | 自分色はっけん vol.1

区内中学校 PTA 会長 / 「おやじの集い」発起人

庄嶋 孝広<sup>さん</sup>

## 7. 区からのお知らせ

## 8. エセナおおたからのお知らせ



このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示す切込みを入れています。専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を音声で聞くことができます。



# 女性の活躍

—— メディアに関わる女性の視点 ——

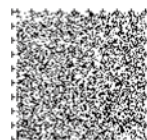
男女雇用機会均等法が成立した1985年にアナウンサーのキャリアをスタートさせた長野智子さん。キャスターとして多くの視聴者から支持される長野さんのこれまでの道のりと、彼女が考えるメディアとのつきあい方についてうかがいました。

報道キャスター

ながの ともこ  
長野 智子さん

## Profile

1985年上智大学外国語学部英語学科卒業  
1985年株式会社フジテレビジョンアナウンス部に入社  
1990年結婚退職後、フリー  
1995年の秋より、夫のアメリカ赴任に伴い渡米。ニューヨーク大学・大学院において「メディア環境学」を専攻し、人間あるいは歴史に対して及ぼすメディアの影響について研究  
1999年5月修士課程を修了  
2000年4月より『ザ・スクープ』（テレビ朝日系）のキャスターとなる  
2014年1月よりニュースサイト「ハフポスト」日本版編集主幹に就任  
現在、『サンデーステーション』（テレビ朝日系）のメインキャスターを務める



## 新人時代のテレビ局 はどのような様子で したか？

私がフジテレビに就職したのは1985年。男女雇用機会均等法が成立した年で、今ならあり得ない職場ルールがまだたくさん残っていました。

例えば、新人女性アナウンサーが最初に覚えることは、先輩男性アナウンサーのお茶の好み。Aさんはコーヒープラック、Bさんは紅茶に砂糖2つといったリストを渡され、本人に聞くことなく好みのお茶を出せるようになることが大切な役割でした。一般商社に勤める夫に聞くと、すでに当時から「お茶は飲みたい人が自分で入れるシステムになっていたため、「テレビ局は遅れているね」と呆れられたりしました(笑)。

最近では、メディアでの男女の描かれ方がたびたび問題になりますよね。テレビにしろ新聞、広告にしろ、メディアは見ている方にとっても大きな影響を与えるもの。いくら表面的に男女平等、働き方改革などといっても、まずメディア側からこうした古い体質を変えていかなければ、社会を変える機運にはつながらないと私



は思っています。もちろん、確実に変わってきてはいるんですよ。でも、まだまだかなと感じることが多いです。

## 報道キャスターを 志したきっかけは？

新人時代、日航ジャンボ機の墜落事故が起きました。その翌日、これから報道特番をオンエアしようという5分前に、現場から送られてきた映像に生存者が映っていたんです。ニュース原稿は生存者が発見される前のもので、現場からの映像にはなんのレポートもついてない。スタジオが騒然とする中、そのままオンエアに突入してしまいました。ところが、番組を担当していた露木茂さんは、用意されていた原稿をゴミ箱に捨て、「生存者が発見されました」と落ち着いた様子で切り出したんです。情報が入ってくるまでの間、露木さんは航空評論家と話をつなぎながら、原稿ゼロの状態で番組を進行しました。一部始終をカメラの横で見ていた私は、その様子に衝撃をうけたんですね。「こんな仕事ができたら、どれだけやりがいがあるんだろう」と感動し、以来、ずっと報道志望です。番組終了後、露木さんが言ってくれた「長野、報道というのは今起きている一番新しい事実を伝えることなんだよ」という言葉も、ずっと記憶に残っています。

## 視聴者側の私たちが メディアに触れる際 気をつけることは？

テレビや雑誌、新聞に限らず、インターネット、SNSなど、現代のメディアは実に多様になってきています。そんな中で視聴者側の立場である皆さんに身につけてほしいのは、いわゆる「メディアリテラシー」。

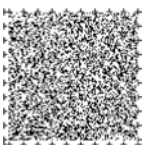
民放のテレビにはスポンサーがついているので、番組にもその意向やメッセージがある程度含まれています。一方で、ウェブメディアは小さな声を拡散することができるけれど、フェイク(偽)の情報も混じっていることもある。そういったメディアそれぞれの特性を踏まえて、情報を取捨選択できるようになれたらいいですね。少し面倒ですが、「新聞ではこういう情報も出ていて、SNSではこういう情報も出ていて。だから、もう少し自分でも調べてみよう」といった行動を意識して取るようにすると、自分なりの判断基準が育ちます。

あらゆる考えや価値観が耳や目に入ってくる時代、流れてくる情報を鵜呑みにしているだけでは、偏った考えにいつの間にか影響されてしまうこともあるでしょう。私は、国語の授業で本の読み方を教わるように、学校教育の中で子どもたちからメディアリテラシーが学べる機会が増えるといいなと思っています。

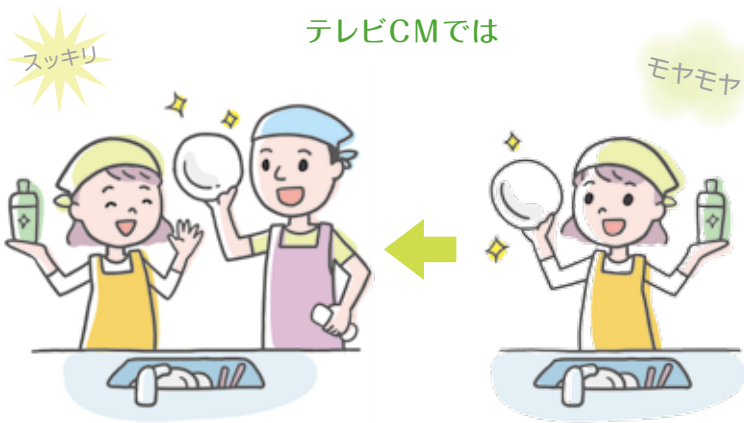
## 長野さんのリーダー シップスタイルとは？

現在、テレビで報道番組を持たせていただいている一方、「ハフポスト」というネットのニュースメディアでも編集主幹をしています。タイプの違う複数のメディアに関わっていると、こちらでできないことをあちらでやるなど、働き方も使い分けることができるので、本当に楽しく、やりがいも感じています。

後輩世代と仕事をする中で気をつけているのは、相手の話をよく聞くということ。若い人にはのびのびと働いて力を発揮してもらいたいです。よほどリスクが高いことではなければ、「やってみなよ」と背中を押すようにしています。また、「苦しいときほど笑っていきましょう」ということも意識していますね。大変なときほど笑顔で「楽しくやろうよ」と。どんなときでも客観性を失わず、決して感情的にならないことが、中心にいる人間の取るべき立場だと思っています。50代になりましたが、これからもずっと報道の現場に携わってきたいですね。いつか、ホワイトハウスでアメリカの大統領にインタビューをするのが、夢なんです。



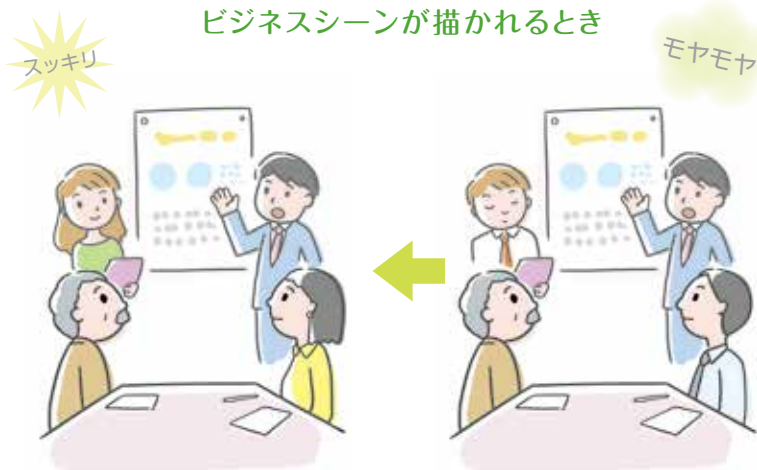
# メディア情報を意識してみよう！



テレビCMでは

▲ 男性と女性が共に洗い物をしている様子に、「奥さん」「ご主人」という男性中心の表現ではなく、「パートナー」などと呼んでみては？

▲ 食器洗剤のテレビコマーシャルなぜ女性だけが、「素敵な奥さん」として出演する？



ビジネスシーンが描かれるとき

▲ 会議の司会者や参加者の半数は女性で表現されるとバランスが良い感じに

▲ 職場でのシーンは、なぜか男性社員ばかりで表現されていませんか？



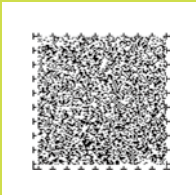
雑誌などで職業が書かれるとき

▲ 性別に関わらず、「弁護士」「医師」という表現が適切ですね

▲ 「女性弁護士」「女医」と冠に女性を表現？ 「男性弁護士」「男医」なんて言わないのに

# 男らしさ？ 女らしさ？ 自分らしさ？

「男の子はブルー、女の子はピンク」  
 そんなイメージはどうやって生まれたのでしょうか？  
 私たちが思い込んでいる、男らしさ・女らしさは、  
 実はメディアによる影響が少なくありません。  
 多様性を認め合う現代社会で、  
 メディアとどのように向き合うべきか考えてみましょう。



## 「らしさ」が決定づけられる日々の情報

人は、女性に生まれたから自然と「女性らしい」振る舞いをするのではなく、男性だからといって生まれながらに「男らしさ」が備わっているわけでもありません。生活環境や周囲の人々の価値観などに影響を受けて、人は「らしさ」を意識して、「らし」な振る舞いをするようになっていくのです。

その「らしさ」の形成に大きな影響を及ぼしているものの一つがメディアです。テレビや雑誌、新聞などに限らず、街中の看板やスマートフォンなどにする情報など、メディアはあらゆる所に存在します。そのような環境の中で私たちは気づかないうちに、メディアの影響を受けているかもしれません。

## 心の中に湧いた違和感を見逃さない

その影響の中で、とくに気をつけたいのが性差別的な偏見、いわゆるジェンダーバイアス。「女性は、男性は〜というあるべき」といった固定的な価値観をメディアが量産し、男女の役割や能力を限定しているのではないのでしょうか。

たとえば、家電や洗剤といった家事に関わる商品のCMに登場するのは、これまで、ほとんどがエプロン姿の女性でした。共働き家庭の設定でも、家事をする男性(夫)の姿が描かれていないなど、「家事・育児は女性が担うもの」というメッセージを暗に受け取ってしまいそんな情報が多かったのです。一方で、「ビジネスシーンを描く映像では、女性がほとんど登場しないものもありますよね。」

他にも、女性弁護士、ママさんアスリートなど、女性ばかりが女性であることを強調する呼称が用いられる一方で、「働くママ」とは言っても「働くパパ」とは言われないなど、意識してみると「変だな」今の価値観にあわないな」と感じる表現は、実にたくさんあるのです。

すべてに目をくじらを立てる必要はありませんが、意識してメディアと向き合ったときに改めて感じる「あれ？」という違和感。それを大切に、「どうしてこうなのかな」と表現になったんだらうっ」と自ら考えてみるのが、メディアのジェンダーバイアスに影響されないためにも大切なことだと思います。

## 「男女」に限らず一人ひとりを尊重する表現を

最近では、SNSなどの普及により、メディアでの男女の描かれ方に対する議論が活発に行われるようになってきました。このような流れを受けて、男の子向けとされていた戦隊モノでも、長い間、男女比4対1だったものが今では3対2になっていたり、女の子向けアニメで「男の子だってお姫様になれる〜(※)」という名言が飛び出すなど、メディアの作

り手もジェンダーの表現に試行錯誤する傾向が見えてきました。

これからのメディア表現は、男女の性差についてのみの議論で終わらず、LGBTを例とした性的マイノリティの人たちへの配慮も欠かせないものになってくるでしょう。「世の中にはいろいろな人がいて、人の数だけ生き方や価値観がある」ということ。それを、発信者のみならず、メディアからの情報を受け取る側の私たちも、日々意識することが、多様性を認め合う社会の実現のためにも大切なのではないのでしょうか。

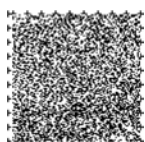
### エッセイの本棚から

#### メディアリテラシーとジェンダー 構成された情報とつくられる性のイメージ

著者：諸橋泰樹  
出版社：現代書館 (2009/6/30)

#### 【内容】

- 第1章 メディアリテラシーとジェンダー
- 第2章 「考えない時代」と「格差社会」の女性雑誌
- 第3章 女性雑誌の瘦身・整形広告と身体観
- 第4章 テレビゲームにおけるジェンダー
- 第5章 性教育パッシング番組のメディアリテラシー的分析
- 第6章 バックラッシュのカルチュラルスタディーズ
- 第7章 新聞報道におけるNHK戦時性暴力改竄番組の高裁判決



※出典：「HUGっと!プリキュア」(製作・東映アニメーション)

自	分	色	
は	っ	け	ん

vol. 1

区内で活躍する男女共同参画人



区内中学校PTA 会長  
「おやじの集い」発起人

しょうじま たかひろ  
**庄嶋 孝広** さん

profile

1974年福岡県生まれ。本業は、地域づくりコンサルタント。大田区非常勤専門職(地域力連携協働支援員)を兼業。地域では、2013年度大田区立小学校PTA連絡協議会会長、おおた区民活動団体連絡会共同代表など。区内に妻と子ども3人の5人暮らし。

# 地域で活かす親父の力

地域活動を始めたきっかけは？

福岡の田舎町に生まれ、子ども会の活動で地域の大人に育てられたことから、もともと「地域」や「地域活動」には興味を持っていました。

大田区で地域に関わったのはNPO活動からです。そのうち子どもが生まれ、小学校に通い出すと、そこでまた新たなつながりができ、ますます地域と深く関わるようになっていきました。

現在、子どもが通う中学校のPTAや、区内のNPO・ボランティア団体の連合体であるおおた区民活動団体連絡会など、いくつもの団体で取りまとめ役をしています。これらはすべて地域の人たちとのつながりが広がっていった結果です。

中でも3人の子どもの通った小学校で、PTAの委員・副会長・会長を務めたのは大きな経験でした。PTAというと女性が担うイメージが強いかもしれませんが、男性の視点が入ることでも物事がスムーズに運び、地域活動にも男女両方からの視点を取り入れることの必要性を実感しました。

「おやじの集い」を発足

昨年、中学校のPTA会長になったのに合わせ「おやじの集い」を立ち上げました。小学校は「おやじの会」が盛んなのに、中学校にお父さんたちのコミュニティがないのはもったいないと考え、呼びかけのチラシを配布して開いている集まりです。「会」ではなく「集



▲エセナおおたの「夏休みパパと一緒にワクワク体験」講座でパパの交流タイムを担当。本業でも地域に貢献

い」としたのは参加のハードルを下げ、まずは知り合っことを目的にできればと考えたため、みんな楽しんで参加しています。

小学校の「おやじの会」では、毎年夏休みの初めに、学校の体育館をオバケ屋敷に仕立てて「きもだめし」を開催してきました。しかし、中学校では子どもと親の距離感も変わることから、「おやじの集い」では運動会のパトロールなど、それまでPTA役員・委員のお母さんたちだけが手伝っていた学校行事で力仕事などを担っています。決して義務ではないのですが、お父さん同士で一緒に汗を流す楽しさもあり、十数人が自主的に参加してくれています。また、町会などの地域行事の手伝いも始めています。

子どもが中学生になると、仕事を始めるお母さんも増えます。女性活躍がいわれる中、女性が「家庭」も「地域」も「仕事」も引き受けるとなると大変です。家事や育児を分担するのは当然ですが、学校や地域に関わる役割も夫婦で分担できるとよいです。女性活躍のためには、同時に「地域での

男性活躍」が必要ではないでしょうか。

チク(地区)メンとして今後の抱負は？

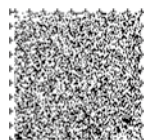
区の非常勤専門職として、昨年、区内小・中学校の「おやじの会」の調査を行い、小学校の7割、中学校の3割にあることがわかりました。今年6月には調査報告を兼ねて、初めて「おやじの会」交流会を行い、26校が参加しました。今後も定期開催していきたいです。

男性にとって地域に活躍の場、つまり「足場」がたくさんあることは、地域が豊かになる上でとても大事です。

中学校では「おやじの集い」をつくりましたが、子どもが卒業すれば再び「足場」がなくなりそうです。たとえば「地域版おやじの会」のような、学校単位の枠にとらわれない地域のお父さんによるボランティアチームがあれば、活動を続けたい、あるいは始めたい人にとって活躍の場となります。そんな男性の「足場」を増やすことで、人手不足に悩む地域団体の人材確保にもつながっていきそうです。



「おやじの集い」では、お揃いのTシャツをつくりました。イベント時には、皆でこれを着てパワーアップ!



## ◆ インフォメーション ◆

国の動き

### 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の成立

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が成立し、今年5月23日に施行されました。多様な人材が議会に参加することで、より現実味のあるきめ細かい政策を実現するのが目的で、法律では国政および地方議会の選挙において、男女の候補者数をできるかぎり均等にしよう促しています。罰則規定はありませんが、国際的にも政治への女性進出が遅れていたわが国にとっては一歩前進といえるでしょう。

内閣府男女共同参画局「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」概要  
[http://www.gender.go.jp/about\\_danjo/law/pdf/law\\_seijibunya01.pdf](http://www.gender.go.jp/about_danjo/law/pdf/law_seijibunya01.pdf)

都の取組み

### 第1回女性が輝くTOKYO懇話会 建設業編が行われました

東京都では、女性活躍の推進について広く発言・提言するため、「女性が輝くTOKYO懇話会」を開催しています。今年度は、女性が少ない業種で活躍しているゲストと知事が語り合い、その業種で働くことの魅力や生活と仕事の両立方法などについて発信していくこととしており、6月の第1回では、建設業の女性6人と小池百合子都知事が本音で語り合いました。(当日の様子は下記WEBサイト参照)

東京都生活文化局 東京都女性活躍推進ポータルサイト  
<http://www.tokyo-danjo.jp/women/event/30konwa-report.html>

## 区からのお知らせ

### 『エセナフォーラム2018』を開催いたしました。

「エセナフォーラム」は、一人ひとりが性別に関わりなく能力を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、区民の皆様が共に考え交流する場として、大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」で開催してまいりました。

今年度は平成30年6月30日(土)に講演会・ワークショップ・展示の3部構成で実施いたしました。

#### 講演会

タイトル：落語&トーク ～女らしくなく 男らしくなく 自分らしく～

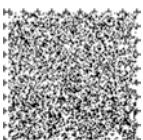
講師：露の団つゆのまるこ姫氏 (落語家・僧侶)

#### ワークショップ

タイトル	団体名
いつからでもあなたは変わる～シンデレラエクササイズ～	大田Life of Life
女性のためのパステルアートで自分らしさ発見!	ココカラぱすてる
おとな&子ども～地域の中での子育ての輪づくり～	おとな&子ども・ほっとネット
仕事も家事も1冊の手帳でうまくいく!～あな吉手帳術体験講座～	FANKS京浜支部
想いを伝え合うハッピーコミュニケーション術	ピースフル・コミュニケーション
本格的味噌汁が毎日飲める!◎飲む元氣玉◎男性のための味噌玉作り	発酵工房たね*たまご
あなたの強みを発見し、夢をカタチに! 女性のためのぷち起業カフェ	おおたで起業をめざす女性の会
何気に描いた絵から読み解くあなたの心の風景	アトリエかめれおん
男の生き方塾10年 軌跡と新しい時代に適応する男の生き方塾のあり方を探る	サードエイジサロン

#### 展示

- ・いつからでもあなたは変わる～シンデレラエクササイズ～ (大田Life of Life)
- ・大田区の男女共同参画の充実を目指して～プラン3期から7期への推進状況を見てみよう～ (PPO (Project People in Ota))



ワークショップでは9団体、展示では2団体の方々にご出展されました。講演会では、定員100名を大きく上回る応募があり、予定よりも座席を増やし、198名の皆様にご参加いただきました。

今後もエセナおおたでは様々な講座を開催予定です。(詳細は8ページ「エセナおおたからのお知らせ」をご覧ください。)ぜひお誘いあわせの上、ご参加いただきますようお願いいたします。

# ◆エセナおおたからのお知らせ◆

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」の講座・イベント

タイトル	内容	日時	対象・定員・その他
育休ママの職場復帰 応援セミナー	育休後もイキイキ働き続けるために必要な知識と、夫婦で分担しながら家事や子育てをするコツを学びます。	10月31日(水)、11月11日(日)10:00~12:00	大田区在住・在勤で第一子の育休中の女性25人(2回目はパートナーもご参加ください)
男の生き方塾	退職後の人生をさらに豊かにするため、調理実習・コミュニケーション・地域活動などを学びます。	10月31日14:00~16:30 11月7日14:00~18:00 14日、21日(水) 14:00~16:30	大田区在住・在学・在勤の概ね50歳以上75歳未満の男性25人
イクメンパパ講座	パパに子育ての楽しさとワーク・ライフ・バランスを学んでもらうための講座です。	11月または12月の日曜日 2回連続	1歳以上から3歳までの子どもと大田区在住・在勤の男性保護者20組
家庭内モラルハラスメントを知る	周囲から気づかれにくいにもかかわらず、自分自身や子どもに深刻なダメージを与える家庭内モラルハラスメントについて学びます。	12月1日(土) 13:30~15:30	大田区在住・在勤の女性優先25人
ぶち起業のススメ	起業事例をもとに、想いをカタチにするヒントを学びます。	未定	大田区在住・在勤で起業に興味のある女性

▶ 講座・イベントのお問合せ・お申込みは「エセナおおた」まで  
エセナおおたでは、男女共同参画社会の実現をめざし、イベントや講座、相談などの様々な取り組みを行っています。また、区民の皆さんが自主的に活動する場を提供しています。



大田区立男女平等推進センター

「エセナおおた」

TEL 03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

〒143-0016 大田区大森北4-16-4

E-mail [escena@escenaota.jp](mailto:escena@escenaota.jp)

<http://www.escenaota.jp/>

エセナおおた

検索



JR大森駅から徒歩8分。駐車場はありません。  
★…案内標識

無料

## 女性のためのたんぽぽ相談

こころの悩み

働く女性の悩み

「たんぽぽのように明るく、たくましく、生き生きとした明日のために」との思いを込め、あなたがあなたらしく生きるための応援をします。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

- 対象者は区内在住・在勤・在学の女性です。
- 秘密は、厳守します。相談内容にあわせ、より適切な専門機関をご紹介します。
- 面談を希望する場合、相談受付時間内に電話で予約してください。面談場所は「エセナおおた」です。
- 面談中、保育(1歳~未就学児)が必要な場合は、相談日の1週間前までに予約してください。

一人で悩んでいませんか？  
まずは、お電話ください。

03-3766-6581

	月・金	火・木	水	土
相談時間	10:00~13:00	13:00~16:00	18:00~21:00	13:00~19:00
受付時間	12:30まで	15:30まで	20:30まで	18:30まで

他にも大田区では、  
DV相談も行っています。

大田区DV相談ダイヤル TEL 03-6423-0502

毎週月曜日~金曜日 9:00~17:00(祝日・年末年始を除く)

東京都では、  
男性のための相談も行っています。

東京ウィメンズプラザ 男性のための悩み相談 TEL 03-3400-5313

電話相談：毎週月曜日・水曜日 17:00~20:00(祝日・年末年始を除く)

面接相談：毎週水曜日 19:00~20:00(祝日・年末年始を除く) ※上記電話にて、要予約

編集・発行/大田区総務部 人権・男女平等推進課  
〒144-8621 大田区蒲田5-13-14 TEL:03-5744-1610 FAX:03-5744-1556  
・平成30年9月発行  
・過去のバックナンバーは【大田区ホームページ > 地域社会 > 男女共同参画を目指して > 男女共同参画のための情報誌「パステル」】に掲載しています。  
ご意見・ご感想もこちらのホームページからご入力いただけます。

大田区ホームページ  
「パステル」

